



国立大学法人
豊橋技術科学大学

IT食農だより

発行元：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL：0532-44-6655 FAX：0532-81-5108 E-mail：manager@recab.tut.ac.jp

2022年4月15日

No. 85



2021年度 最先端植物工場マネージャー育成プログラム第9期生・IT食農先導士養成プログラム
(最先端土地利用型IT農業コース) 第5期生修了式集合写真

最先端植物工場マネージャー育成プログラム第9期生・IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)第5期生の修了式が行われました!

2022年3月25日(金)に2021年度最先端植物工場マネージャー育成プログラムおよびIT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)修了式が行われました。今年度は、A101教室で2年ぶりに対面形式の修了式となり、寺嶋学長から修了生15名に称号・修了証書が授与されました。

称号授与の後、教室講義とeラーニングで優秀な成績を修めた松本雅彦氏と福井美奈子氏に「優秀成績賞」が、課題研究で優秀な成績を修めた大岡祐馬氏、福井美奈子氏、松本貴美徳氏に「課題研究優秀賞」が授与されました。学長式辞に続いて、修了生を代表し、松本雅彦氏が答辞を述べました。

(文責：熊崎 忠)

学長式辞

「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」と「IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)」を修了された15名の皆さん、おめでとうございます。「植物工場マネージャー育成プログラム」を修了された皆さんは、「植物工場管理経営士」と「IT食農先導士」という2つの称号を、「最先端土地利用型IT農業コース」では、「IT食農先導士」の称号

をもつ、いわば本学お墨付きの人材です。ぜひ、様々な機会に、「植物工場管理経営士」や「IT食農先導士」を名乗り、自信をもって活躍いただくとともに、豊橋技術科学大学を世の中に大いに知らしめていただきたいと思います。また、このプログラムは、本日出席の豊橋市、田原市、株式会社サイエンスクリエイト様をはじめ、豊川市、蒲郡市、新城市、地元企業の方々から様々な御支援をいただいております。これにより、このプログラムが運営できているということ、それらの皆様にも御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

この人材育成プログラムは、本学の中で「履修証明プログラム」として正式に位置づけられており、本学が実施する各種社会人向け講座の中でも、最も形と内容が整った、実績のあるプログラムです。皆さんは、一昨年12月から1年4ヶ月の間、教室での講義やeラーニングの受講、各種研修や課題研究に取り組み、すべての講義科目においてレポートを提出しました。また、それぞれテーマを決めて課題研究に取り組み、発表を行いました。社会人として、様々な制約がある中で、これらを行うことは、決して容易なことではなかったでしょう。この度15名の方が修了されることをとても嬉しく存じます。そして、この学びがこれからの皆さんの活躍に大いにプラスになっていくことを期待します。

皆さんを加え、「植物工場管理経営士」は105名、「IT食農先導士」は228名となりました。人材育成というものを考える時に、講座を受講して完成という

訳ではありません。自然相手の農業には次々と新たな課題が登場し、究めることは容易ではありません。飽くなき挑戦のために、皆さんは受講中から『IT農業ネットワーク』の一員として、先端農業・バイオリサーチセンターが実施する各種人材育成事業の受講生・修了生と共に、ネットワークを形成してきました。そして、本学の『IT農業サポーターセンター』が、ネットワークを、そしてみなさんを支えています。このネットワークこそが、このプログラムの最大の強みと言えるでしょう。是非、皆さんも大いに活用してください。

本学では、「社会人学び直し事業」として、先端農業・バイオリサーチセンターだけでなく、他のセンターや研究所でも様々な社会人向けの人材育成を行っています。現役の大学生とは異なる「社会人の学び」に対して、大学はどのように応えていくのか、まだまだ改善・発展の余地があると考えます。東三河地域には「社会人キャリアアップ協議会」という組織もあり、大学だけではなく、産学官金(金融)といった連携のもとで人材育成を進めようとしています。

「社会人の学び」は、終わりが無いものでしょうから皆様は、まだ最初のドアを開けたところなのかもしれません。プログラム修了後も「学び」を続け、またIT農業ネットワークの仲間と連携することによって、地域の農業の発展、さらには本地域のますますの活性化に貢献されるこ

とを期待しています。修了にあたりまして、私からあらためてお祝いの言葉を申し上げて、式辞とさせていただきます。本日は おめでとうございませす。



寺島学長と答辞を述べる松本氏

修了生答辞

春分も過ぎ、景色が春色に染まり始め、陽射しの温もりが心地よく感じられる季節となりました。

本日は、御多忙の中、寺嶋一彦学長をはじめ、ご来賓の皆様、先端農業・バイオリサーチセンターの諸先生方、関係の皆様のご臨席を賜り、私たち最先端植物工場マネージャー育成プログラム第9期生、およびIT食農先端士養成プログラム第5期生のために、天伯原の本キャンパスにて心のこもった修了式を挙行していただき、修了生一同を代表して

心より御礼申し上げます。

私は、1年4ヶ月前、農業分野に先端技術を取り込んで実現する未来社会、スマート農業の姿が如何に進展するものか関心を抱き、園芸初心者でしたが、人生百年時代の学び直し・地域貢献に向けたスキルアップを念頭に、入学志願致しました。多様なバックグラウンドと色々な思いを抱くまだ名も知らぬ仲間たちと共に、これから始まる新しい学びへの大きな期待とそれと同じくらい大きな不安を抱き、この豊橋技術科学大学のキャンパスに集うつもりでした。

しかしながら、2020年1月に国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症の広がり、その第三波の立ち上がり時期となった一昨年の12月においては、開講式がオンライン形式開催との案内を受け、先行き不安な船出となりました。

対面は果たせませんでした。会社の事業で農業に関わる方、この東三河で実際に農業を営まれている方、新しい農業技術に関心のある方、新規就農に取り組まれる方、私と同様、東三河以外からも参加される方などの存在が確認できました。

参加した目的や動機は異なるかも知れませんが、皆「学び」に対して意欲的な仲間たちでした。

カリキュラムは、オンラインの集中講義とeラーニングを並行して自主学习する盛り沢山なものでした。内容は、農業の基本である土壌や栄養、植物生理や病害虫防除などから最先端農業である施設園芸や植物工

場における設備管理や環境制御に留まらず、経営やマーケティング、統計学、工学的な観点にまで及ぶ幅広い知識を習得することができました。また、先端施設研修では、現在、真に活躍され全国農業産出額トップクラスの「農業王国・東三河」を支える取り組みを見せていただき、深い感銘を受けました。

課題研究では、オンラインで指導頂いた山内先生、熊崎先生には暖かくお導き頂き、最終発表会に至ることができました。先生方から頂いた総評のお言葉のように、栽培対象の植物について真摯に向き合い観察をデータ化し、データに基づいて植栽・農業を捉えるという考え方の礎は経験できたことと思います。

この1年4ヶ月の間、仕事やコロナ禍の新しい日常と両立しながらの受講は大変でしたが、無事にやり遂げることができました。これもひとえに、同期の存在、そして先端農業・バイオリサーチセンターの皆さまのご支援があつてのことと、改めて御礼を申し上げます。

最後になりましたが、修了生を代表して、寺嶋学長並びに諸先生方、お世話になった皆様のご健康と更なるご活躍、豊橋技術科学大学の益々のご発展をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和4年3月25日
最先端植物工場マネージャー育成プログラム第9期生代表

※紙面の都合上、修了生答辞の一部を割愛させていただきました。

松本 雅彦